

1年 図画工作科学習指導案

展開場所 自教室

1 題材名 やぶいたかたちが大へんしん(絵画)

2 題材について

本題材は、紙を破いた感触を味わいながら、破いた形の面白さに気付くことをきっかけとして、自分なりのイメージを広げながら楽しんで絵に表すというものである。題材名は、児童が思いのままに紙を破き、偶然にできた形から何かをつくり出すという見通しをもち、何に変身させるか楽しみながら活動できると考え設定した。破いた紙の形や色、模様からイメージを膨らませ、自分なりの作品に仕上げていく楽しさを味わえるようにしたい。

本題材は、学習指導要領の目標(2)「造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて考え、楽しく発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。」を受けて設定している。この目標を受け、内容「A表現」の(1)イ「絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したことから表したいことを見付けることや、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながらどのように表すかについて考えること。」を指導の重点とする。

本題材では、新聞紙、包装紙、紙袋の紙など、いろいろな紙を集めておくことで、紙の質感や模様、色などから発想を広げられるようにする。手で破くことができる紙を使うことで、普段ハサミが上手く使えず紙を切ることに苦戦している児童も、楽しんで活動ができると考える。第一時では、自分の好きな色や材質の紙でいろいろな破き方を試し、できた形から自分のイメージをもてるようにする。まず、児童が自由に紙を破き、紙を破く活動への興味や関心を高める。紙を破く楽しさを十分に味わせた後、破く速さによって破いた跡が変わることや、破く方向によって破きやすさが違うことに気付いている児童を紹介し、いろいろな破き方を見付けようとする意欲を高めていく。破き方を見付けたら、「くるくる切り」「ぎざぎざ切り」「なみなみ切り」など、破き方に名前を付け、全体で共有する。自分では気付けなかった児童も友達の技を試してみることで、いろいろな破き方を習得できると考える。さらに、「これなあんだ？」クイズを行い、破いた形が何に見えるか話し合う活動を通して、同じ形でも見る向きや見る人によっていろいろなものに見えてくることを知り、自分の表現に生かせるようにする。自分のお気に入りの色や模様の紙を使うことで、色・模様・形からイメージを膨らませやすくなる。第二時(本時)では、破いた紙の置き方や並べ方、組み合わせなどを工夫し、自分のイメージを絵に表す。台紙(4つ切りの画用紙)は、自分のイメージに合う色を児童が選べるように、白画用紙と色画用紙(10種類程度)を用意しておく。パーツの紙の向きや角度を変えると動きが出て面白いことや見え方が変わってくることに気づき、自分のイメージに合わせてパーツの貼り方や台紙の色を工夫できるようにする。第三時では、自分のイメージを基に、背景にクレヨンで絵を描き加えたり、紙を貼ったりして作品を仕上げる。学習の始めに、紙を破いた形から作った物のよさを共有することで、中心の物が引き立つように背景を考えていけるようにする。第四時では、完成した作品を見合い、互いの発想や工夫の面白さや楽しさを味わう。また、毎時間学習の終わりに鑑賞の時間を設けることで、造形的な見方や考え方を養っていく。

本題材では、いろいろな破き方を体験し、できた形が何に見えるか見立てる時間を十分に確保できるようにする。そうすることで、自分のイメージにあった表し方を工夫することができるようになるのではないかと考える。

3 題材の目標

(1) 知識・技能	(2) 思考・判断・表現	(3) 主体的に学習に取り組む態度
<p>○紙の材質によって、破き方やちぎり方を変えたり、紙の向きを変えたりしながら、異なる形になるようにする。</p> <p>○紙に十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫してつくる。</p>	<p>○紙を破いたりちぎったりした感触や、紙の形や色などを基に、自分のイメージをもつ。</p> <p>○自分たちの作品や紙などの造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げる。</p>	<p>○楽しく破いたり、ちぎったりした紙の形から思い付いたことを表す学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする。</p>

4 指導計画(4時間扱い)

次	時数	学習活動
1	1	自分の好きな色や材質の紙でいろいろな破き方を試し、できた形から自分のイメージをもつ。
2	2	破いた紙の置き方や並べ方、組み合わせなどを工夫し、自分のイメージを絵に表す。(本時2/4)
	3	自分のイメージを基に、背景にクレヨンで絵を描き加えたり、紙を貼ったりして作品を仕上げる。
3	4	作品を見合い、互いの発想や工夫の面白さや楽しさを味わう。

5 材料と用具


材料	用具
新聞紙 包装紙 紙袋(切り開いておく) 折り紙 色画用紙 和紙 四つ切の画用紙(台紙用)	のり クレヨン・パス




6 本時の指導(2/4)

(1) 目標

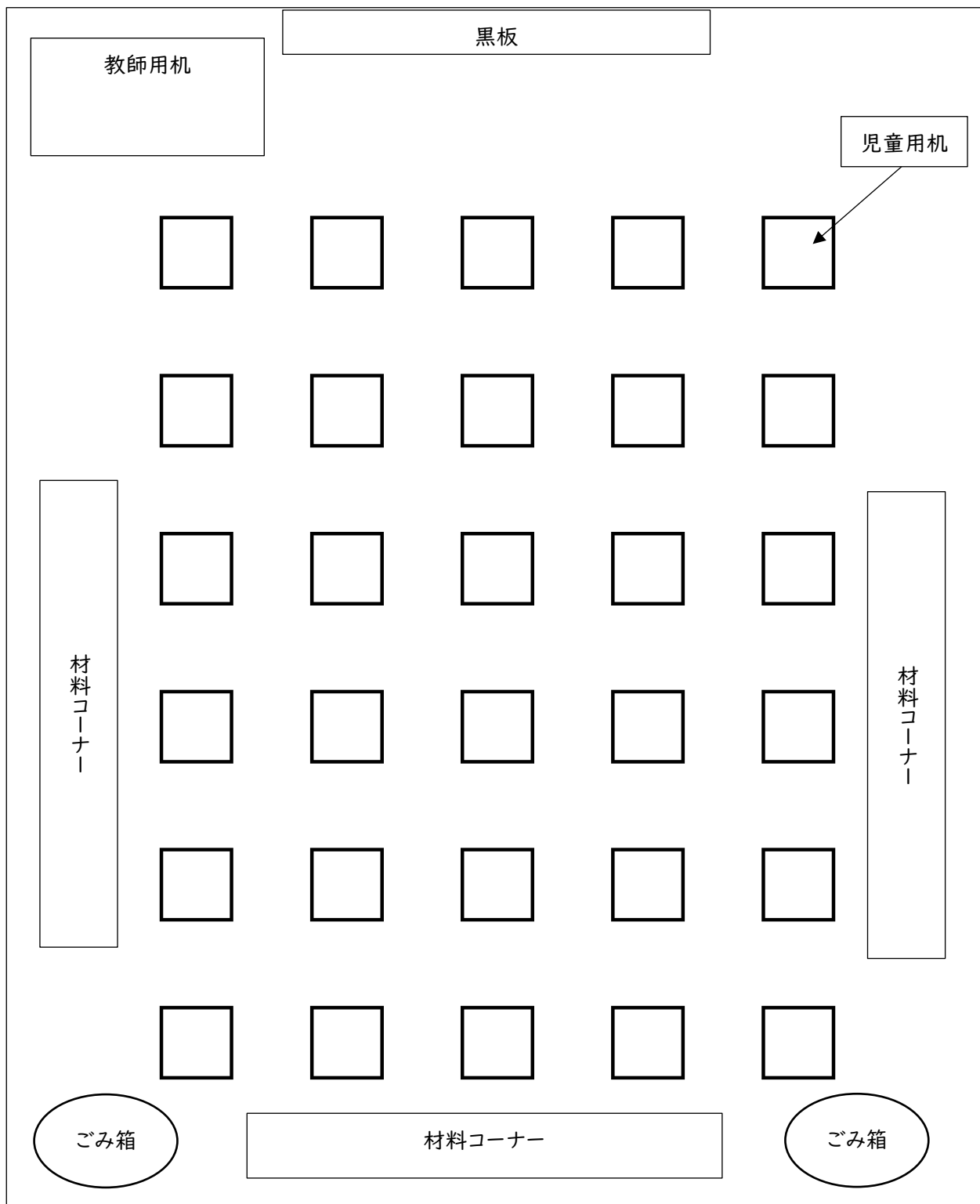
○破いた紙の形や色、置き方などから自分のイメージをもち、見立てたり、組み合わせたり、重ねたりして絵に表すことができる。(思考・判断・表現)

(2) 展開

学習活動と 予想される児童の反応(・)	教師の指導(・)と支援(○)及び評価(◆)	資料 材料・用具
<p>1 前時に破いた形が何に見えるかを考え、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 横に置いたら魚に見えた。 ・ 縦に置いたら帽子に見えた。 ・ 恐竜の顔の形みたいに見えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 台紙に貼るときに気を付けることや工夫するとよいことを教師が実演で伝える。(貼る向き、のりのつけ方、基の形が残るように貼るなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時に作った形(10個以上) ・ 見つけた形の掲示物

<ul style="list-style-type: none"> ・猫みたいに見えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○作品例を見ながら、同じ形でも向きを変えたとまた違うものに見えてくることを気付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4つ切りの色画用紙
<p>できた形を組み合わせて○○にしよう。</p>		
<p>2 パーツを並べて形が見えてきたら、繋げたり、重ねて貼ったりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小さなキラキラの紙をはったら、うろこみたいになるよ。(魚)  <ul style="list-style-type: none"> ・しっぽを貼ろう。(猫)  <ul style="list-style-type: none"> ・目をつけたいな。(恐竜) 	<ul style="list-style-type: none"> ・できた形を組み合わせたたり、足りない部分のパーツを作って貼ったりしてよいことを伝える。 ◆ 破いた紙の形や色、置き方などから表したいことを思い付き、工夫して絵に表している。(思考・判断・表現) ○ 何に見えたのかを聞きながら、あと何があるとよいかを考えられるように助言する。 ○ 破いた形をつくる際に出た細かい紙も集めておき、材料コーナーから自由に取っていけるようにする。 ○ 早く終わった児童には、周りにあるものを想像して、自分が思い付いた形に関連したものをつくるように声掛けする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・のり ・リサイクルボックス ・いろいろな色や模様の包装紙、紙袋
<p>3 鑑賞をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とがっている部分がくちばしになっている。 ・曲がっているところが口を開けているみたい。 ・紙を組み合わせたら、○○ができたね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達作品を見て回り、破いてできた形を生かした表現のよさを味わえるようにする。 	
<p>4 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やぶいたかたちから、自分のイメージしたものができた。 ・貼るときに向きを考えて貼ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時で貼り終わらなかった児童は、次時にもできるように配慮する。 	
<p>5 後片付けをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルボックスとごみ箱を用意しておき、使えるような材料とそうでないものを分別する習慣を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルボックス

【場の設定】



- ・ 児童用机には、利き手側にときめきボックス（使いたい形の紙を入れるための袋）、反対側にリサイクルボックス（使うかもしれない残りの紙を入れる袋）を設置する。
- ・ 材料コーナーには、前時に集めておいた紙を置き、自由に取れるようにしておく。（密になるのを避けるため、3箇所に分ける。）